

内陸エリア



県内陸部は、5市14町1村の20の市町村からなり、津波の被害こそなかったものの、栗原市で最大震度7を記録し、死者・行方不明者の人的被害のほか、10,000棟近くの全半壊の住家被害やライフラインの寸断など、被害は甚大でした。内陸の市町村では、自らの復旧作業と平行しながらも、より被害の深刻だった沿岸部を支援するため、物資の提供や人員の派遣、避難者の受け入れなどさまざまな支援を早い段階から実施しました。震災対応として、平成20年に発生した岩手・宮城内陸地震の経験や教訓が生かされた地域もありました。現在、多くの内陸部市町村では、被害の爪跡を残している場所があるものの、震災前の落ち着きを取り戻しています。また、震災後も企業の進出や工場の建設などが着実に進んでおり、復興への大きな弾みとなっています。

応急仮設住宅入居者数
〔平成24年3月2日現在〕

応急仮設住宅	282人
民間賃貸借上住宅	5,148人
計	5,430人

※民間賃貸借上住宅の市町村ごとの件数は、当該市町村で申請受付し入居決定した件数です。申請市町村と入居希望物件の所在市町村が異なる場合があるため、市町村ごとの現在入居件数とは異なる場合があります。

内陸エリアの被害状況

〔平成24年3月11日現在〕

	地域合計	県内合計
死者	10人	9,544人
行方不明者	8人	1,688人
全壊	1,327棟	84,728棟
半壊	8,180棟	147,156棟

2012年1月25日
見えない敵との戦い。丸森の孤軍奮闘はこれからも続く (丸森町町西)

放射性物質の風評被害で苦しむ丸森町の観光施設『齋理屋敷』。「お客さんは6割減だけど、基本は変えません」と佐藤館長の一本芯の通った考えの背景には「力まない。なるようにしかならないから」という信念が。蔵の外壁は一部剥がれ柱も侵食されていますが、時間を掛けて修繕していくそうです。「早く福島、宮城、岩手が立ち直ってくれたらね。主要なお客さんだから」と、期待を込めて声援を送り続けています。これからも。

蔵の被害は大きい、必ず復活してくれる

2012年1月29日
震災を忘れない (大河原町小島)

AZ9ジュニア・アクターズは県南を拠点とする結成19年の子ども劇団。今年度は震災をテーマにした芝居を2月に上演しました。子どもたちは身近にいる被災した人たちのことも思いやりながら公演をやり遂げました。

2012年2月9日
みんなのよりどころ。白石城から宮城を見つめる (白石市益岡町)

白石市の中心部にそびえる『白石城』は外壁に大きな被害を受けました。「4月には通常に戻りました」と案内人の大槻さん。でも観光客はまだ、例年の5割くらいしか戻っていません。「石巻や気仙沼など沿岸部からも気晴らしに結構いらっしゃるんですよ。逆に頑張ってる、と励まされることも」。『嫌な光景を思い出させないように、言葉には配慮しています』と、心のケアも怠らない案内を目指していました。

痛々しい白石城。美しい姿に戻る事を期待

2012年2月15日
お酒の母、奮闘中 (大崎市古川)

銘酒「宮寒梅」をつくる社員6名の酒蔵、寒梅酒造。3月11日に酒蔵は全壊しましたが、お酒の元「こうじ」を造る室は幸い、無事でした。12月に仕込みを再開。「家族だけでなく地域の人たちとの絆、人の思いに助けられました」と岩崎真奈さん。

2012年2月20日
復興の先駆けに！新プロジェクト進行中！ (登米市津山町)

横山不動尊大徳寺を拠点に活動を続ける「被災者とNPOをつないで支える合同プロジェクト」。「被災した方が楽しみながら自立できるように」と、古着物からつくられたエコバッグ・巾着などの製造を企画しています。

2012年2月21日
被災者を受け入れた「金成延年閣」。 (栗原市金成)

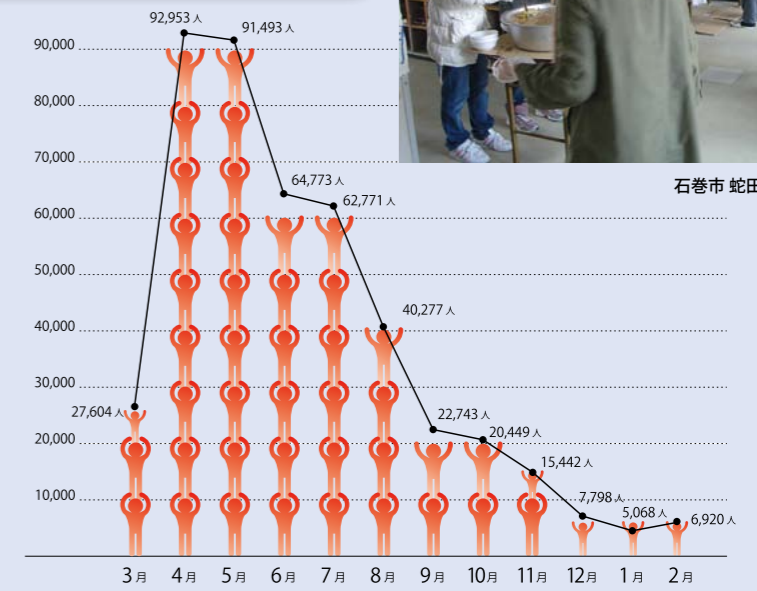
露天風呂から栗駒山が見える日もある、いこいの日帰り温泉「金成延年閣」。震災時には、いち早く三陸沿岸部の被災者の受け入れを表明。避難所としての役割を果たしました。2012年5月には営業再開の予定です。

支援状況

国内外から多大なる温かいご支援をいただき、宮城は復興への歩みを進めています。ここでは、その一端をご紹介します。



※宮城県内（主に沿岸部）の市区町村災害ボランティアセンターにおけるボランティア活動数（延人数）です。一部確認中のため、今後、変動する可能性があります。



寄付金 県内の災害復旧および復興事業の財源のために活用いたします。

件数	金額
6,216件	92億3360万6000円〔平成24年2月17日現在〕

義援金 被災された方々に対する生活支援のために活用いたします。

(1) 義援金受付団体※から宮城県への配分状況

①第一次配分	555億2192万円〔平成24年1月25日現在〕
②第二次配分	1152億9939万230円〔平成24年3月9日現在〕

※義援金受付団体：日本赤十字社、中央共同募金会、日本放送協会、NHK厚生文化事業団

(2) 日本政府を通じた東日本大震災義援金の宮城県への配分状況

15億6636万5000円〔平成24年1月30日現在〕

(3) 宮城県（宮城県災害対策本部）の受付状況

180,741件	246億4190万1562円〔平成24年3月9日現在〕
----------	-----------------------------

東日本大震災みやぎこども育英募金

東日本大震災による震災孤児等支援のために活用いたします。

3,035件	32億3822万9425円〔平成24年2月17日現在〕
--------	-----------------------------

詳しくは

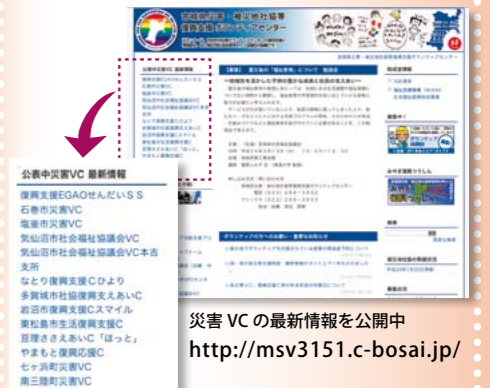
ほかにも物心両面で本当にたくさんのさまざまなご支援をいただきました。今なお被災地製品の購入やチャリティーイベント、県外避難者へのご支援など、さまざまな形でご支援いただいております。心より御礼申し上げます。

長期的・継続的なボランティア活動のお願い

被災者及び被災地域の復興のため、国内外から、多くの皆さまの災害ボランティア活動に対するご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

被災地域では、復旧活動が継続して行われておりますが、被害が甚大な地域では、今なお、ボランティアの方々のお力を必要としている状況が続いております。

これまでにご参加いただいた個人・団体・企業などの皆さま、また、今後の参加をお考えの皆さまには、このような被災地の現状をご理解いただき、長期的かつ継続的なご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



詳しくは